

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース											
専攻実技1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	西川進・永田範正			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター				
授業概要											
卒業時にビジネススペースでのデモ作品が発表できることを見据え、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。そのための基礎的な楽曲制作スキル、基礎的な楽器の知識の習得、様々なジャンルのアレンジスキルを体得するなかで、オリジナリティの追求とビジネススペースでの制作発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
オリジナリティの追求とビジネスプランの検討がされ、かつ音楽的品質の高いデモ作品の完成を目標とする。講師は作品を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを掲示し、作品をブラッシュアップしてゆく。経済的基盤または社会的基礎における再現性、継続性が見込める作品の制作や活動を見据えた知識とスキルの習得が本授業における最上位目標となる。											
授業方法											
制作ソフト「cubase」の操作法を随時アップデートする過程で、DAW制作の基礎的なスキルを体得する。コード進行のバリエーション、リズムバリエーションの習得、多様なメロディラインを生み出す手法の理論的側面からの考察、楽器毎の打ち込み方法や音色作りのポイントについて学ぶ。また、様々なジャンルや年代の既存曲を多角的に分析することにより、楽曲の仕組み、アレンジの仕組みを理解し、オリジナル楽曲の制作に活用する。											
成績評価方法											
提出物60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度(居眠り、私語など)にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布のステムデータ・MIDIデータなど											
回数	授業計画										
第1回	cubase操作法の基礎①・音色のバリエーションについて										
第2回	cubase操作法の基礎②・リズムパターンのバリエーションについて										
第3回	cubase操作法の基礎③・コード進行のバリエーションについて										

## 専攻実技1

第4回	ポップス系楽曲の分析（使用楽器）・作品制作（リズムの入力）
第5回	ポップス系楽曲の分析（コード進行）・作品制作（コード進行の入力）
第6回	ポップス系楽曲の分析（メロディライン）・作品制作（メロディの入力）
第7回	ポップス系楽曲の分析（構成）・作品制作（イントロ含めワンコーラスの制作）
第8回	ミックスの基礎的な手法・作品制作（ミックスと書き出し、提出）
第9回	作品の授業内発表
第10回	cubase操作法（ループ、素材）・作品制作（ループ、素材の活用）
第11回	cubase操作法（ピッチ、タイムストレッチ等のエディット）・作品制作（素材のエディット）
第12回	cubase操作法（プラグインエフェクトの活用）・作品制作（エフェクトによる音色のブラッシュアップ）
第13回	cubase操作法（制作時短テクニック）・作品制作（構成の検討）
第14回	やや高度なミックス手法・作品制作（ミックスと書き出し、提出）
第15回	作品の授業内発表・前期のまとめ